

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1348日経過しました
第5次長期滞在クルーのISS滞在は53日経過しました

ISS動向

第5次長期滞在クルーは忙しい日々を送っています。米国実験棟「デスティニー」内での科学実験やISS内のシステムの保守作業に加え、広報活動として地上からのインタビューを受けました。また、学生たちに科学に親しんでもらうために、ヨーヨーやサッカーボールなどの玩具を使って地上と宇宙の違いを説明する様子が撮影されました。この模様は「Toys in Space」という題名でNASAから公開される予定です。



デスティニー内で作業中のウィットソ宇宙飛行士（手前）とコズン宇宙飛行士（奥）

これからの予定（日本時間）

- ・ 8月 1日 プログレス補給船によるISS高度引き上げ
- ・ 8月16日 5次クルー1回目の船外活動
(ズヴェズダへのデブリよけシールド取り付け、ロシアの材料曝露実験装置取り付け)
- ・ 8月23日 2回目の船外活動
(NASDAの微小粒子捕獲・材料曝露装置の回収、ザーリャの冷媒ポンプ外側パネルの交換)
- ・ 9月26日以降 スペースシャトル・アトランティス号打上げ(アメリカ)
(NASAの発表により、打上げ日は変更される可能性があります)

“今週の「きぼう」”

第一回安全・開発保証技術会議が開催されました

7月25日、筑波宇宙センターで第一回「有人宇宙システムに関する安全・開発保証技術会議」が開催されました。

この会議は、最近の国際宇宙ステーションに関する安全・開発保証の技術情報をNASDAおよび開発メーカで共有し、国際宇宙ステーションのミッションを確実なものにすることを目的としたものです。ゲスト講演者としてNASA安全審査パネル議長N. Vassberg氏が「国際宇宙ステーションに関するNASA安全審査パネルの活動」と題して、安全要求の基本的な考え方と最近の知見などを紹介しました。

会場には100名を超える参加者が集まり、熱心に聞き入っていました。



安全・開発保証技術会議の様相

「きぼう」船内実験室、8月に気密性確認試験を実施

「きぼう」船内実験室の気密性を確認するために、船内実験室を筑波宇宙センター総合環境試験棟へ移動し、棟内に設置されている大型真空チャンバを用いて試験を実施します。

“トピック”

夏休みにモデルロケットを作ってみよう

NASDA宇宙ステーション・キッズページでは、チョコレート菓子の筒を使ったモデルロケットの作り方を紹介しています。夏休みの工作に自分だけのモデルロケットを作ってみませんか？

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/kids/kousaku/kousaku.html>

日本モデルロケット協会のホームページでは各地で行われているモデルロケット教室やイベントの情報が掲載されています。詳しい情報は下記アドレスをご覧ください。

<http://www.ja-r.net/>

